

VI 教育研究等環境

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表20)

	校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
	校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積(m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
千葉第一	92523.8	24400	25276.9	10378.2	49	4872.7
千葉第二	16774.73	4000	6262.47	4958	22	2212.39
みずほ台	54810	17320	19890.06	8038.26	60	5282.69

[注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、トイレなどが挙げられます。

2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。

3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

2 専任教員の教育・研究業績

(表21)

省略

- [注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに別個に作成してください。
- 2 各教員ごとに最近5年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
- 3 「教育活動」については、各項目ごとに年月日順に、「学会等および社会活動」については、就任年月日順に記入してください。
- 4 「研究活動」については、下記の点に留意してください。
- ① 著書・論文及びその他の順に、発表年月日順に記入してください。
 - ② 著者が複数にわたる場合で、筆頭著者が著書・論文等において明示されている場合には、その氏名に◎印を付してください。
 - ③ 共著（論文）の場合、「該当頁数」の記入にあたっては、本人の分担箇所を特定できる場合は、その頁数を記載してください。
 - ④ 最近5年間に著書・論文等の発表のなかった者についても、教員名を挙げてその部分を空欄にしておいてください。

3 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）

(表22)

省略

4 専任教員の研究費（実績）

(表23)

学部・研究科等	総額 (A)	総額(B) (除、講座・研究室等 の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
総合福祉学部	18,896,448	20,825,950	64	295,257	325,405	
看護学部	6,010,602	6,010,602	20	300,530.1	300,530.1	
国際コミュニケーション学部	15,221,814	17,871,828	53	287,204	337,204	
計	40,128,864	44,708,380	137	882,991	963,139	

- [注] 1 2009年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2009年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額（A）には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。

5 専任教員の研究旅費

(表24)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
総合福祉学部	総 額	200,730	0	0	0	1,923,610	3,220,558	専任教員64人
	支 給 件 数	1	0	0	0	9	103	
看護学部	総 額	—	—	—	—	—	1,521,475	研究費総額(1人) : 49万円 (内訳: 備品・会費・研究資料等 …44万円 旅費 …5万円 44万円から旅費として執行することは可能 ですが、5万円は旅費以外の執行はできません。
	支 給 件 数	—	—	—	—	—	73	
国際コミュニケーション学部	総 額					3,348,875	3,452,301	
	支 給 件 数					27	177	
計	総 額	200,730	0	0	0	5,272,485	8,194,334	
	支 給 件 数	1	0	0	0	36	353	

[注] 1 2009年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費(実績)」は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件(例えば、受給資格、支給額の上限等)を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

6 学内共同研究費

(表25)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
総合福祉学部	1,929,502	2	
国際コミュニケーション学部	3,406,725	6	
総合福祉研究科	0	0	
計	5,336,227	8	

[注] 1 2009年度の実績を記入してください。

2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費(いわゆる学内科研費)を指します。

3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。

4 総額の合計は、教員研究費内訳(表26)中の学内共同研究費の合計と一致します。

付表7 淑徳大学学術研究補助費等

(1) 千葉キャンパス

学術研究助成費

年度	氏名	テーマ	金額 (千円)
19年度	戸塚 法子	学生の多様な個性と能力を尊重した、「福祉実践 e - 教育」に関する教育手法の開発 ―「開発型教育」への転換期における“演習教育”の導き方―	900
〃	松蘭 祐子	地域社会におけるソーシャルキャピタルの活性化 ―寺と地域社会―	870
〃	占部 慎一	基礎演習教授例の財産化・共有化に関する研究	900
20年度	該当者なし		
21年度	時井 聡	学生のキャリアマネジメント形成支援のためのインターンシッププログラムの策定	640
〃	戸塚 法子	新デバイスによるブレインディッド e-ラーニングを志向した「福祉実践 e - 教育」による演習教育の進め方	1,391

研究叢書出版助成費

年度	氏名	テーマ	金額 (千円)
19年度	柏女 霊峰	子ども家庭福祉サービス供給体制 ―切れ目のない支援をめざして―	1,500
〃	松田 博雄	子ども虐待 ―多職種専門家チームによる取り組み―	1,499
20年度	木村 登紀子	つながりあう「いのち」の心理臨床 ―患者と家族の理解とケアのために―	1,500
21年度	辻村 昌昭	現代労働法学の方法	1,500

海外研究及び国内研究・調査等

年度	氏名	テーマ	金額 (千円)
19年度	該当者なし		
20年度	桝潟 俊子	ローカルフードシステム・食育に関わる環境倫理・価値に関する研究 (東京大学大学院)	587
21年度	大橋 靖史	Discursive Psychology に基づく、想起や予期に関わるコミュニケーションの分析 (滞在国イギリス)	2,535

(2) みずほ台キャンパス

学術研究助成費

年度	氏名	テーマ	金額 (千円)
19年度	赤崎 美砂	留学成果の分析：日本人成人の場合	684
〃	工藤 久嗣	公的年金基金会計の国際比較Ⅲ —ニュージーランド・スウェーデンを中心として—	500
〃	永江 総宜 (佐藤・横山・ 駒崎・白寄)	大学生のキャリア開発教育プログラムの研究	1,830
20年度	工藤 久嗣	退職後給付制度の会計基準 —カナダ・ニュージーランドを中心として—	600
〃	高橋 多喜子	音楽教育における療法的アプローチ —ラテン音楽をモチーフにした場合—	1,000
21年度	矢島 健三 (松原 健司、 永江 総宜、 菊池 義信)	小学校におけるキャリア教育の現状と課題	900
〃	武田 道生	沖縄本島都市周辺における仏教寺院の受容と展開	619

学術奨励研究助成費

年度	氏名	テーマ	金額 (千円)
19年度	山口 光治	高齢者虐待防止のための予防プログラムの検証	602
20年度	藤森 雄介	戦後社会福祉施設の設定及び展開過程に関する事例的研究	635
21年度	小倉 常明	学生・生徒の奉仕活動に関する国際比較	833
〃	米村 美奈	大学におけるキャンパスソーシャルワーカーの業務の現状とその課題—教育の有効性を中心とした検証—	791
〃	葉山 彩蘭	日中におけるMBAプログラムの比較研究	308

学術出版助成費

年度	氏名	テーマ	金額 (千円)
19年度	葉山 彩蘭	企業市民モデルの構築 (仮題)	1,384
20年度	山口 光治	高齢者虐待とソーシャルワーク (仮題) —予防とエンパワメントの視点から—	1,413
21年度	清水 正道	環境コミュニケーション論 (仮題)	1,049

7 教員研究費内訳

(表26)

学部・研究科等	研究費の内訳	2007年度		2008年度		2009年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
総合福祉学部	研究費総額	35,406,150	100.0	26,109,549	100.0	29,570,118	100.0	
	学内	経常研究費(教員当り積算校費総額)	25,215,184	71.2	22,709,549	87.0	24,040,616	81.3
		学内共同研究費	4,774,576	13.5	1,500,000	5.7	1,929,502	6.5
		その他						
		科学研究費補助金	3,490,000	9.9	1,900,000	7.3	3,600,000	12.2
	学外	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金						
		民間の研究助成財団等からの研究助成金						
		奨学寄附金						
		受託研究費	1,926,360	5.4				
		共同研究費						
その他								

学部・研究科等	研究費の内訳	2007年度		2008年度		2009年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
看護学部	研究費総額	8,606,122	100.0	13,558,837	100.0	9,612,077	100.0	
	学内	経常研究費(教員当り積算校費総額)	6,006,122	69.8	8,221,095	60.6	7,532,077	78.4
		学内共同研究費	—	—	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—	—	—
		科学研究費補助金	2,600,000	30.2	4,990,000	36.8	2,080,000	21.6
	学外	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	—	—	—	—	—	—
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	—	—	347,742	2.6	—	—
		奨学寄附金	—	—	—	—	—	—
		受託研究費	—	—	—	—	—	—
		共同研究費	—	—	—	—	—	—
その他		—	—	—	—	—	—	

学部・研究科等	研究費の内訳	2007年度		2008年度		2009年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	
国際コミュニケーション学部	研究費総額	30,725,439	100.0	28,369,489	100.0	25,353,539	100.0	
	学内	経常研究費（教員当り積算校費総額）	22,665,201	73.8	22,298,245	78.6	21,846,814	86.2
		学内共同研究費	4,360,238	14.2	3,521,244	12.4	3,406,725	13.4
		その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	学外	科学研究費補助金	3,700,000	12.0	2,300,000	8.1	0	0.0
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		奨学寄附金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		受託研究費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		共同研究費	0	0.0	250,000	0.9	100,000	0.4
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0		

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、（表23）の（A）+（表24）の計、経常研究費、（表25）でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

8 科学研究費の採択状況

（表27）

学部・研究科等	科学研究費								
	2007年度			2008年度			2009年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
総合福祉学部	6	2	33.3	6	1	16.7	5	1	20.0
看護学部	1	1	100.0	5	2	40.0	4	0	0.0
国際コミュニケーション学部	3	1	33.3	5	0	0.0	4	0	0.0
総合福祉研究科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
計	6	2	33.3	6	1	16.7	5	1	20.0

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

付表8 科学研究費補助金等

総合福祉学部

(千円)

	研究種目	研究者	区分 継続	課 題 内 容	平成 21 年 直接経費 ／間接経費	平成 22 年 直接経費	平成 23 年 直接経費	平成 24 年 直接経費
1	基盤研究C	松田 苑子	継続	水田稲作における労働と意識－生活時間長期時系列分析をとおして－	300 ／90	0	0	0
2	基盤研究C	村上 信	継続	医療ソーシャルワーカーの学部教育プログラムに関する研究	900 ／270	0	0	0
3	基盤研究C	榊潟 俊子	新規	ローカル・フードシステムの社会的意義の実証研究 －社会関係と社会的公正をめぐって	1,400 ／420	1,100	800	
4	挑戦的萌芽 研究	神 信人	継続	相互依存度選択状況における適応的個人感情モデルの構築	1,000	1,000	0	0

看護学部

(千円)

	研究種目	研究者	区分 継続	課 題 内 容	平成 21 年 直接経費 ／間接経費	平成 22 年 直接経費	平成 23 年 直接経費	平成 24 年 直接経費
1	基盤研究C	小川 純子	継続	CAIによる、小児がんの子どもの治療への主体性を高める疾患別 援助プログラムの作成	600 ／180	400	0	0
2	若手研究B	秋月 百合	継続	対人関係性の質が不妊女性の心理的適応に及ぼす影響 －看護支援の質向上を目指して	1,000 ／300	1,300	0	0

国際コミュニケーション学部

(千円)

	研究種目	研究者	区分 継続	課 題 内 容	平成 21 年 直接経費 ／間接経費	平成 22 年 直接経費	平成 23 年 直接経費	平成 24 年 直接経費
				該当なし				

9 学外からの研究費

(表28)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合計 (A+B)
		科学研究費 補助金総額 (A)	うちオーバー ヘッドの額	その他の学外 研究費総額 (B)	うちオーバー ヘッドの額	
総合福祉学部	64	3,750,000	150,000	0	0	3,750,000
看護学部	20	2080000	480000	0	—	2080000
国際コミュニケーション学部	53	130,000	30,000	0	0	130,000
総合福祉研究科	0	0	0	0	0	0
合計	64	3,750,000	150,000	0	0	3,750,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
 2 2009年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2009年度の人数を記入してください。
 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

10 教員研究室

(表29)

学部 研究科	室数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率 (%) (A/B*100)	教員1人当 たりの平均面積 (㎡)	備考
	個室(A)	共同	計		個室	共同				
総合福祉学部	72	—	72	1517.20	21.10	—	59	100.00	21.10	
看護学部	20	1	21	438.90	20.08	37.18	23	99.50	19.10	4人
国際コミュニケーション学部	60	1	61	1398.84	22.48	49.80	52	100.00	26.90	
国際コミュニケーション学部 (通信教育部)	4	1	5	135.32	21.38	49.80	4	100.00	21.38	
計	156	3	159	3490.26	21.95	45.59	138	100.00	22.12	

- [注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。
 2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。
 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。
 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

11 主要施設の概況

(1) 千葉キャンパス

(表30)

施設名	用途	建築年	延床面積(㎡)	備考
1号館	講義室、研究室、自習室、学部資料室等	昭和42(1967)年	2,358.00	
2号館	アリーナ、教室、音楽練習室等	昭和60(1985)年	5,838.98	
3号館	研究室、講師室、サーバルーム等	昭和60(1985)年	1871.20	
4号館	図書閲覧室、事務室	平成4(1992)年	1670.98	
5号館	講義室、機械室等	昭和51(1976)年	1009.92	
6号館	講義室、演習室等	昭和49(1974)年	1567.43	
7号館	講義室等	平成4(1992)年	882.83	
8号館	職員室、プレイルーム等	-	195.42	古い建築物であるため、建築年が登記簿等に記載されておらず不明である。
9号館	研究室、OA演習室等	-	696.00	古い建築物であるため、建築年が登記簿等に記載されておらず不明である。
10号館	研究室、講義室、ホール、売店等	平成8(1996)年	2239.93	
11号館	学生ホール、部室、自習室等	平成12(2000)年	1976.35	
12号館	教室、演習室、実験実習室等	平成13(2001)年	2016.84	
13号館	プレイルーム、相談室、事務室等	平成15(2003)年	516.62	
14号館	部室、集会室等	平成17(2005)年	373.03	

(2) 千葉第二キャンパス

施設名	用途	建築年	延床面積(㎡)	備考
校舎	講義室・演習室・実験室・実習室・研究室・図書室・管理関係・その他	平成19(2007)年	6,262.47	

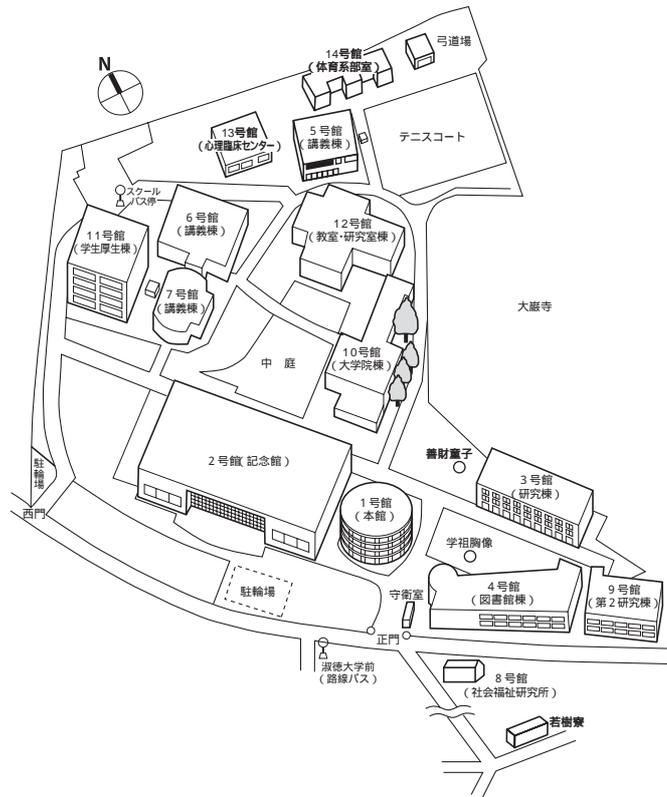
(3) みずほ台キャンパス

施設名	用途	建築年	延床面積(㎡)	備考
1号館	講義室、研究室、食堂等	昭和61(1986)年	8148.62	
2号館	講義室、研究室、売店等	昭和63(1988)年	2835.68	
3号館	講義室、演習室等	平成8(1996)年	1649.09	
4号館	講義室、演習室等	平成16(2004)年	2030.95	
図書館	閲覧室、資料室、研究室等	平成8(1996)年	4981.49	
体育館	運動施設、研究室等	昭和61(1986)年	2869.72	

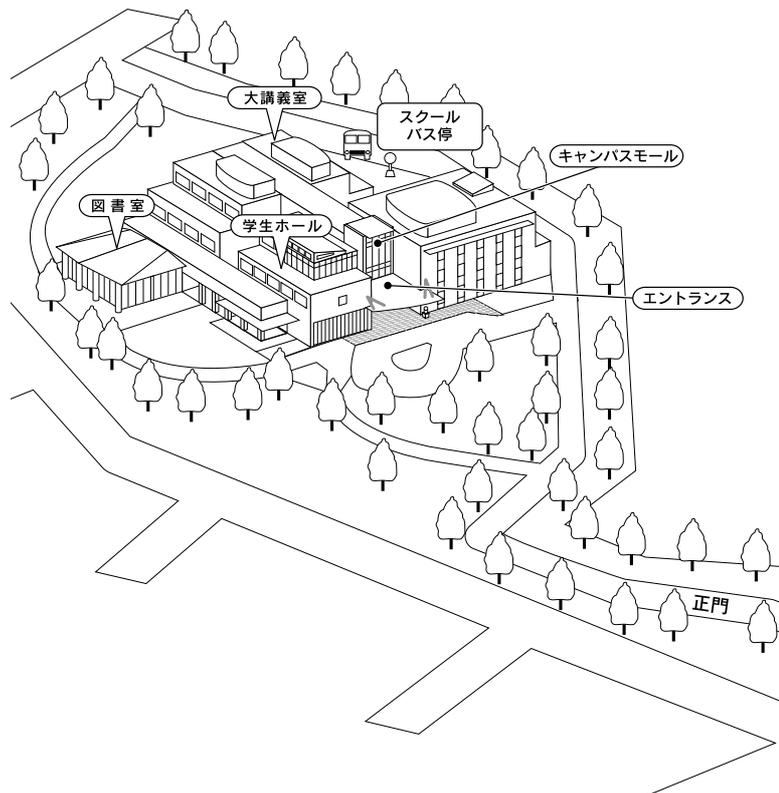
[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

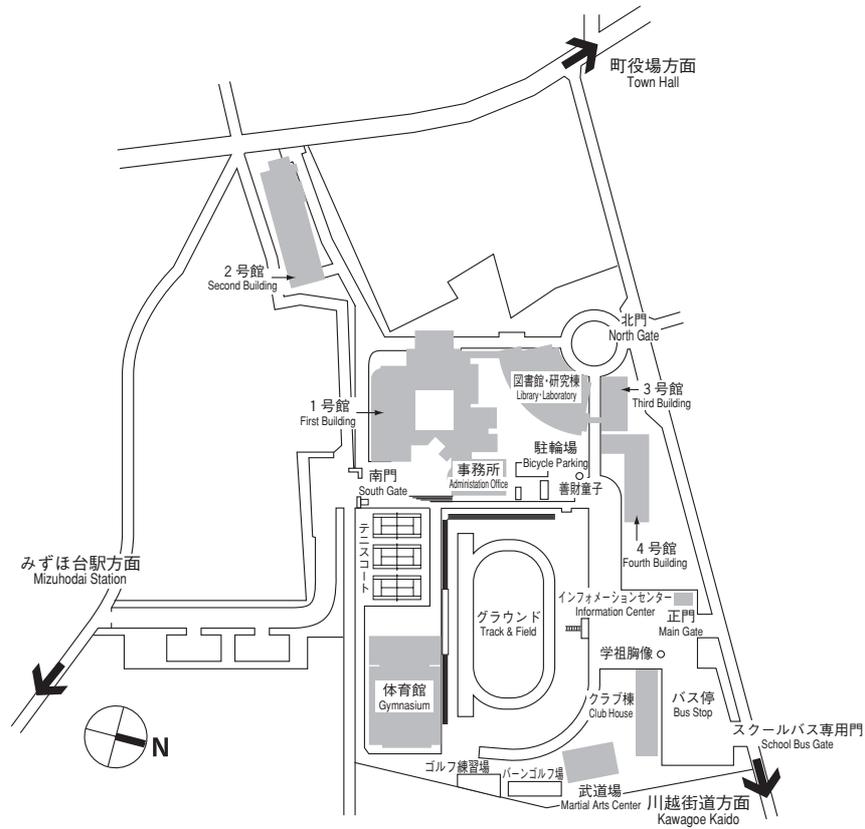
【図2 千葉第一キャンパス校舎配置図】



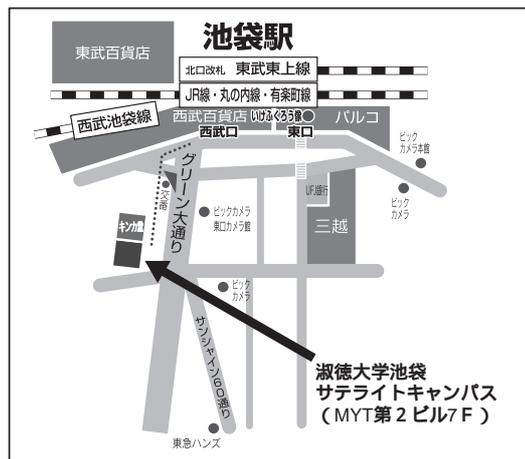
【図3 千葉第二キャンパス校舎配置図】



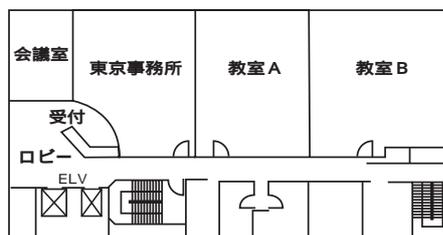
【図4 みずほ台キャンパス校舎配置図】



【図5 池袋サテライトキャンパス校舎配置図】



所在地 〒171-0022
東京都豊島区南池袋1-26-9 MYT第2ビル7F
(キンカ堂の隣り)



12 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表31)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数(B)	利用学生1人当たり 面積(m ²)(A/B)	備考
総合福祉学部	講義室	13	2,830.0	専用	3,774	2,625	1.08	
	演習室	24	1,408.3	専用	1,164	2,625	0.54	
	学生自習室	2	114.0	専用	56	2,625	0.04	
看護学部	講義室	7	957.7	専用	746	416	2.3	
	演習室	9	349.8	専用	108	416	0.8	
	学生自習室	1	53.3	専用	13	416	0.1	
国際コミュニケーション学部	講義室	14	2,363.9	専用	2,133	1,687	1.40	
	演習室	40	2,624.2	専用	1,412	1,687	1.56	
	学生自習室	1	92.2	専用	38	1,687	0.05	

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数(B)	利用学生1人当たり 面積(m ²)(A/B)	備考
総合福祉研究科	講義室	0	0.0	専用	0	83		
	演習室	4	216.0	専用	125	83		
	学生自習室	5	304.1	専用	88	83		
国際経営・文化研究科	講義室	2	63.2	専用	24	31		
	演習室	2	63.2	専用	24	31		
	学生自習室	1	76.0	専用	36	31		
	体育館	1	3,727.0	専用				
	体育館	1	2,869.7	専用				

- [注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。
- 2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。
- 3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。
- 4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。
- 6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。
- 7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除して算出してください。

13 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(1) 千葉キャンパス

(表32)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
プレイルーム	1	146	20	7.32	総合福祉学部・総合福祉研究科	
ピアノレッスン室	20	149	40	3.73		
コンピュータ室	3	331	155	2.14		【再掲】
心理実習室	8	109	56	1.95		
介護実習室	1	61	20	3.03		
計	33	796	291	2.74		

(2) 千葉第二キャンパス

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
PC・LL実習室	1	147.54	60	2.46	看護学部	
科学実験室	1	74.86	60	1.25	看護学部	
基礎看護・成人看護・老年看護実習室	1	329.12	60	5.49	看護学部	
母性・小児実習室	1	192.55	60	3.21	看護学部	
地域・精神看護実習室	1	107.51	60	1.79	看護学部	
計	5	851.58	300	2.84		

(3) みずほ台キャンパス

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
情報処理教室	6	506.82	225	2.25		【再掲】
PC自習室	1	92.15	38	2.43		【再掲】
マルチメディアルーム	1	92.88	48	1.94		【再掲】
音楽室	1	87.82	30	2.93	教養教育	【再掲】
ピアノ練習室	1	87.82	-	-	教養教育	【再掲】
楽器練習室	4	71.94	-	-	教養教育	【再掲】
多目的実習室	1	175.64	50	3.51	教養教育	
社会福祉実習室	1	95.58	-	-		
計	16	1,210.65	391	3.10		

- [注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。
- 2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。
 - 3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。
 - 4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。
 - 5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。
 - 6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「12 学部・研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」の講義室・演習室に含めても構いません。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

14 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表33)

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
総合福祉学部〔前学期〕	1 ～ 30	14	591	253	42.8	
	31 ～ 90	16		170	28.8	
	91 ～ 200	16		70	11.8	
	201 ～	5		98	16.6	
計				591	100.0	
総合福祉学部〔後学期〕	1 ～ 30	13	481	157	32.6	
	31 ～ 90	16		157	32.6	
	91 ～ 200	8		77	16.0	
	201 ～	2		90	18.7	
計				481	100.0	
総合福祉研究科〔前学期〕	1 ～ 30	5	111	111	0.0	
	31 ～ 90	0		0	0.0	
	91 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～	0		0	0.0	
計				111	0.0	
総合福祉研究科〔後学期〕	1 ～ 30	5	108	108	100.0	
	31 ～ 90	0		0	0.0	
	91 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～	0		0	0.0	
計				108	100.0	
看護学部	1 ～ 50	0	108	0	0.0	
	51 ～ 100	6		16	14.8	
	101 ～ 300	4		61	56.5	
計		10		77	71.3	

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
国際コミュニケーション学部〔前学期〕	1 ～ 20	13	673	144	21.4	
	21 ～ 50	12		112	16.6	
	51 ～ 100	17		228	33.9	
	101 ～ 150	6		93	13.8	
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	3		31	4.6	
	251 ～ 300	0		0	0.0	
	301 ～	1		15	2.2	
計		52		623	100.0	

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
国際コミュニケーション学部〔後学期〕	1 ～ 20	13	653	155	23.7	
	21 ～ 50	12		141	21.6	
	51 ～ 100	17		249	38.1	
	101 ～ 150	6		71	10.9	
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	3		24	3.7	
	251 ～ 300	0		0	0.0	
	301 ～	1		11	1.7	
計		52		651	100.0	

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
国際経営・文化研究科〔前学期〕	1 ～ 20	4	50	46	92.0	
	21 ～ 50	2		3	6.0	
	51 ～ 100	1		1	2.0	
計		7		50	100.0	

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
国際経営・文化研究科〔後学期〕	1 ～ 20	4	44	43	97.7	
	21 ～ 50	1		1	2.3	
計		5		44	100.0	

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

- 2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語Ⅰ」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。
- 3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

15 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表34)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2007年度	2008年度	2009年度	
千葉図書館	233,546	228,546	749	82	13,257	5,000	6,397	6,984	6,485	
看護学部図書室	14,185	14,185	144	31	627	-	9,736	2,300	2,214	※電子ジャーナルは 千葉図書館にて一括契約
みずほ台図書館	167,145	160,948	673	210	5,027	-	6,732	6,992	7,545	電子ジャーナルは、 千葉図書館で集中管理。
計										

[注] 1 雑誌等ですすでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

16 図書館利用状況

(表35)

図書館の名称	専任 スタッ フ数	非常勤 スタッ フ数	年間 開館日 数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2007年度	2008年度	2009年度	2007年度	2008年度	2009年度	
千葉図書館	1 (1)	6 (5)	277	月～金 9:00～20:40	102728人	93814人	86650人	16000冊	14255冊	13793冊	(内訳) 学生 教員 職員
				土 9:00～16:30	()	()	()	14938 ※1062 ※教職員	12824 539 892	12345 634 814	
				日祭日 : ~ :	()	()	()				
				長期休暇中 9:00～16:30	()	()	()				
看護学部図書室	0 ()	3 (3)	280	月～金 9:00～18:50	12920人	21730人	33601人	953冊	3574冊	6678冊	(内訳) 学生 教員 職員
				土 9:00～12:30	()	()	()	443	2265	6332	
				日祭日 : ~ :	()	()	()	217	723	176	
				長期休暇中 9:00～16:30	()	()	()	27	436	170	
みずほ台図書館	1 (1)	8 (3)	291	月～金 9:00～21:00	110,042人	98,131人	100,287人	18,930冊 ①館外貸出 15,281冊 ②館内貸出 3,649冊	17,388冊 ①館外貸出 14,859冊 ②館内貸出 2,529冊	15,616冊 ①館外貸出 13,188冊 ②館内貸出 2,428冊	年間利用者数 は、教員・職 員・学生・一 般開放による 地域住民等の 区別した統計 を取れないの で利用者全て の数値。
				土 9:00～21:00	()	()	()	①館外貸出 ・学生 13,622冊 ・教員 968冊 ・職員 691冊	①館外貸出 ・学生 12,817冊 ・教員 1,151冊 ・職員 891冊	①館外貸出 ・学生 11,246冊 ・教員 1,070冊 ・職員 872冊	
				開館する 日祭日 9:00～16:30	()	()	()	②館内貸出 ・学生 3,382冊 ・教員 225冊 ・職員 42冊	②館内貸出 ・学生 2,354冊 ・教員 159冊 ・職員 16冊	②館内貸出 ・学生 2,242冊 ・教員 173冊 ・職員 13冊	
				長期休暇中 9:00～16:30	()	()	()				

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを()内に内数で記入してください。
 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、()内に記入してください。

17 学生閲覧室等

(表36)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の 座席数 ()	備 考
千葉図書館	294	2,455	12.0	(0)	学生収容定員 学部2,380名 大学院76名
看護学部図書室	92	300	30.7	(0)	学生収容定員は3年次までの合計
みずほ台図書館	310	1,752	17.7	(0)	学生収容定員 学部1,720名 大学院32名
計				()	

[注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。

2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。

3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。